

環境配慮型容器の取組拡大

～バイオマス素材、リサイクル素材、紙素材容器～

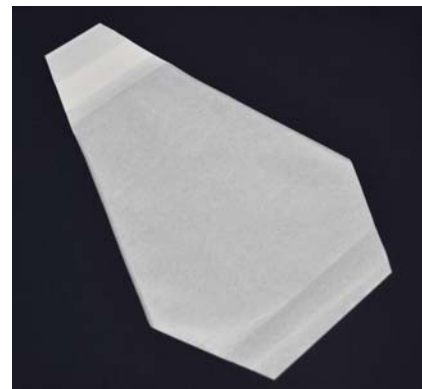
シノブフーズ株式会社（本社：大阪市西淀川区、代表者：松本崇志）は、環境に配慮した製品の供給への取組として、新たにナショナルブランド（NB）のサンドイッチについて、紙素材を使用した包材を採用し、発売することといたしました。

弊社は、中期経営計画における主要取組の一つとして環境戦略を推し進めており、製品に使用している容器に関して、かねてよりバイオマスプラスチック（BP）原料素材の使用をはじめとして、リサイクル原料素材の使用、軽量化など、環境に配慮した容器の使用を進めてまいりました。このたび、紙素材の容器使用とあわせて、環境に配慮した素材の容器を使用した製品のラインナップ拡充を行い、環境配慮型容器への積極転換と拡大を進めてまいります。



● サンドイッチの紙包材販売開始

サンドイッチのナショナルブランド「エピ・ムー」シリーズの一部アイテムに使用している包材について、表面積の50%を紙素材に置き換えた袋に転換します。



【今後の展開予定】

3月：紙使用包材の関西地区でのテスト販売開始

5月：紙使用包材の通常販売開始

ボックスサンドのBP25%含有容器展開開始

(写真左上：包装後商品イメージ)

(写真右上：包材裏面紙部分)

(写真右下：ボックスサンド用BP25%含有容器)



環境配慮型容器の取組拡大

● バイオマスプラスチック素材容器の取組

2020年2月発売のナショナルブランドの弁当アイテムにおいて、新たに8アイテムをBP25%含有の容器に切り替え、計11アイテムがBP25%含有容器となりました。



2月時点：NB弁当容器（本体）への採用11アイテム（20アイテム中、55%）

● リサイクル素材容器の取組

容器本体とあわせて、蓋部分についてはリサイクル原料使用容器の拡大を進めております。



（容器側面に「エコマーク」とリサイクル品使用の刻印）

2月時点：NB弁当容器（蓋）への採用12アイテム（20アイテム中、60%）

包装機械設備の更新、包材種類への対応準備により、関西地区から展開を開始し、関東、東海、中四国地域へと順次地域とアイテムの拡大を進めてまいります。

● その他の取組事項

- ・軽量化への継続取組（重量削減への取組）
- ・森林認証紙
- ・工場での取り組み
バイオマス25%ゴミ袋
使用量の削減

● 今後の取組、課題

- ・おにぎりフィルム等を含むNB全アイテムの環境配慮型容器への転換
- ・BP含有率アップ
- ・紙容器の米飯アイテムへの展開

今後も紙素材使用比率拡大、石油由来原料部分の代替素材について、包材メーカーとの連携・協力を進め、より環境に配慮した製品をお客様に提供できるよう努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

シノブフーズ株式会社 管理本部 担当：三田尻

TEL 06-6473-7208